

介護人材実態調査 集計結果

2023/06/07

鹿児島県鹿屋市

発送事業所数：238件

回収事業所数：181件

回収率：76.1%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。

(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。

(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【介護人材実態調査】

調査の目的

- ・ 介護人材実態調査では、介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握します。
- ・ そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、地域内の介護人材の確保・サービス提供方法の改善などにつなげていくことを目的としています。

調査の概要

- ・ アンケートは、事業所、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・ 調査では、各事業所等に所属する介護職員の数や、採用・離職の状況に加え、各介護職員の属性を個別にご回答いただくことで、多様なクロス集計を可能にしています。
- ・ また、訪問介護事業所については、別途に職員が回答する「職員票」を用意しています。これは、特に訪問介護について、個々の職員の身体介護・生活援助の提供状況を把握することで、サービス提供に見直しの余地がないか検討することを想定しています。
(例えば、買い物や調理・配膳などの提供を、地域のボランティア等が担うことはできないか検討するなど)

注目すべきポイント

- ・ サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？
(サービス系統別に大きな偏りはみられないか)
- ・ 過去1年間の、サービス系統別の採用・離職の実態は？
(要介護者数の増加に比して、介護職員数は増加しているか)
- ・ 訪問介護のサービス提供に、見直しの余地はないか？
(生活援助について、地域のボランティア等が担う余地はないか)

【介護人材実態調査のまとめ】

1.性別・雇用形態別の年齢構成

性別・年齢別の雇用形態の構成比は、「訪問系」では60歳代女性が27.6%（内正規職員9.1%）と最も高く、次いで50歳代女性が24.8%（内正規職員11.5%）となっています。「施設・居住系」でも60歳代女性が17.4%（内正規職員13.2%）と最も高く、次いで50歳代女性が14.1%（内正規職員12.1%）となっています。「通所系」では40歳代女性が19.8%（内正規職員12.5%）と最も高く、次いで50歳代女性が16.6%（内正規職員13.7%）となっており、全サービス系統を通して50歳代～60歳代の女性の割合が多く、20歳代～30歳代の若年層や、男性の割合が低く、偏りがあることが分かります。

2.サービス系統別の採用・離職の状況

過去1年間の採用と離職の状況は、全サービス系統181事業所で採用者数が正規職員288名、非正規職員109名、離職者数が正規職員185名、非正規職員95名となっています。サービス系統別に見ると、「訪問系」30事業所で、「採用者数」が正規職員24名、非正規職員20名、「離職者数」が正規職員27名、非正規職員23名、「通所系」49事業所で「採用者数」が正規職員43名、非正規職員25名、「離職者数」が正規職員26名、非正規職員19名、「施設・居住系」67事業所で「採用者数」が正規職員128名、非正規職員44名、「離職者数」が正規職員90名、非正規職員41名となっています。

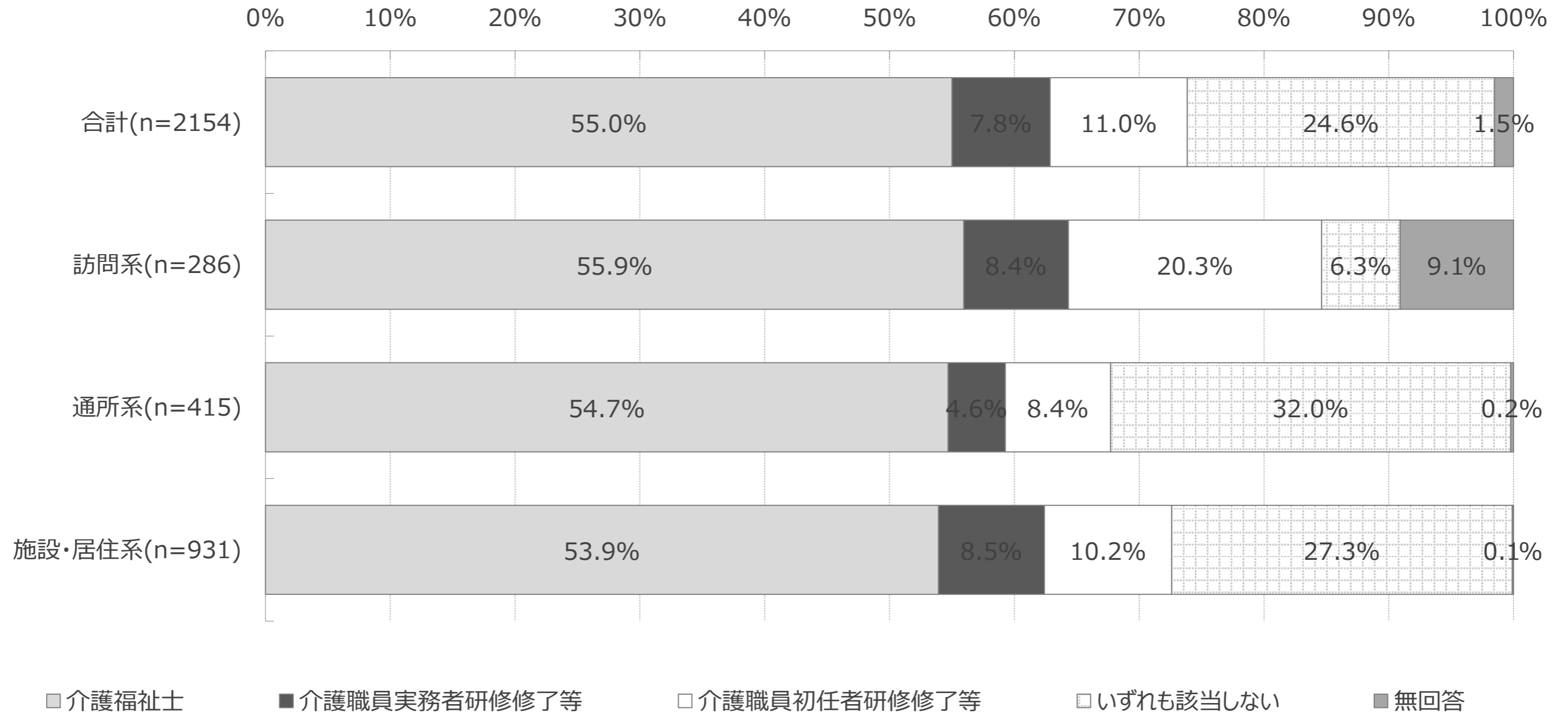
全サービス系統で正規職員も非正規職員も採用実績がありますが、**その一方で離職者数も多く**なっており、**早期離職防止・定着促進が課題になる**と考えます。

3.サービス提供の見直し

訪問介護員のサービス提供時間の内訳について、「介護給付」では70歳代以上を除く全ての年代の職員で身体介護に充てる時間が最も多く、「予防給付・総合事業」では全ての年代の職員でその他生活援助に充てる時間が最も多くなっています。

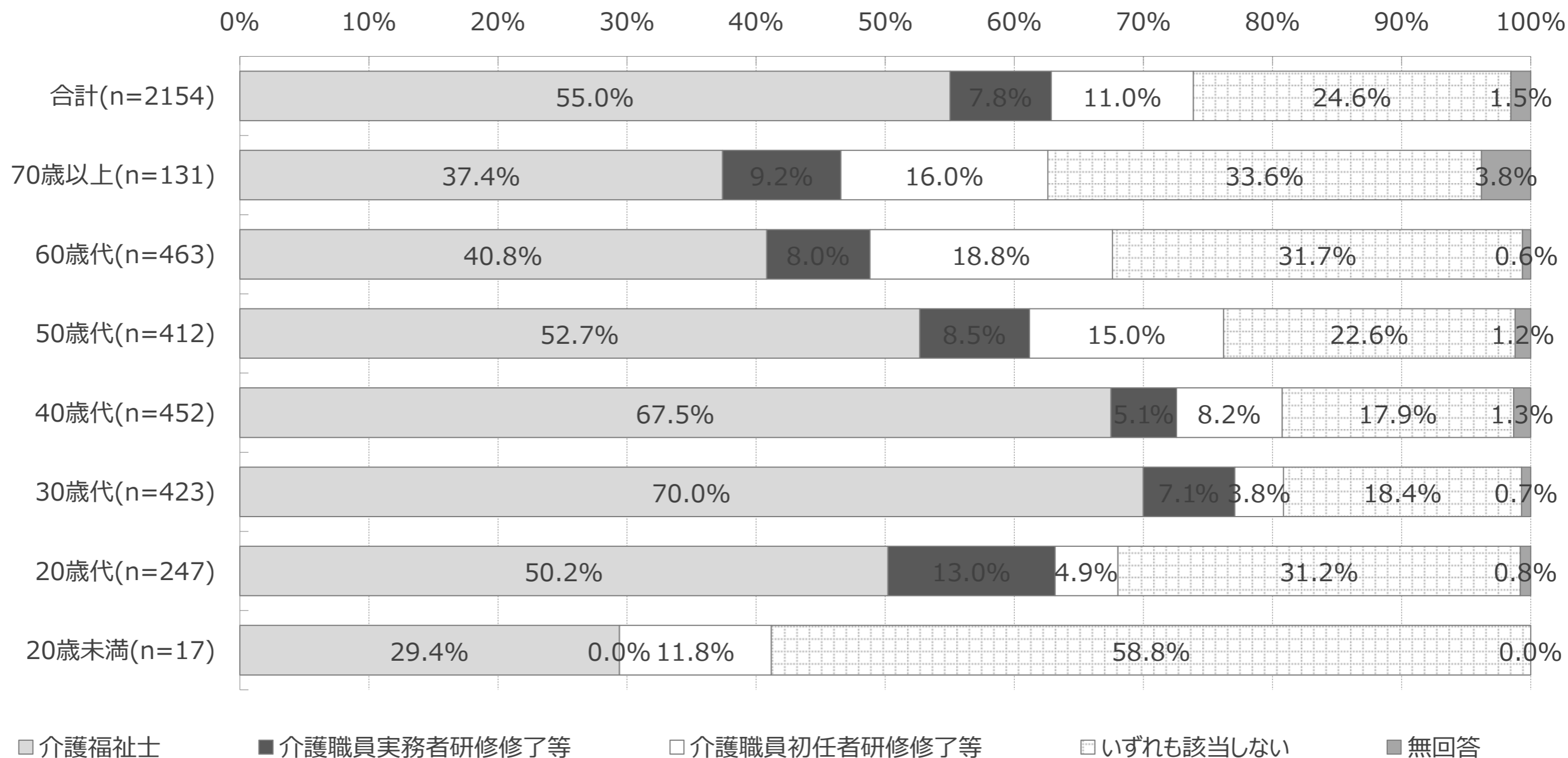
ただし、「介護給付」でもその他生活援助に充てる時間が、全ての年代の職員で2番目に多くなっており、介護ボランティアの活用など地域との連携もこれまで以上に必要になると考えます。

サービス系統別の資格保有の状況



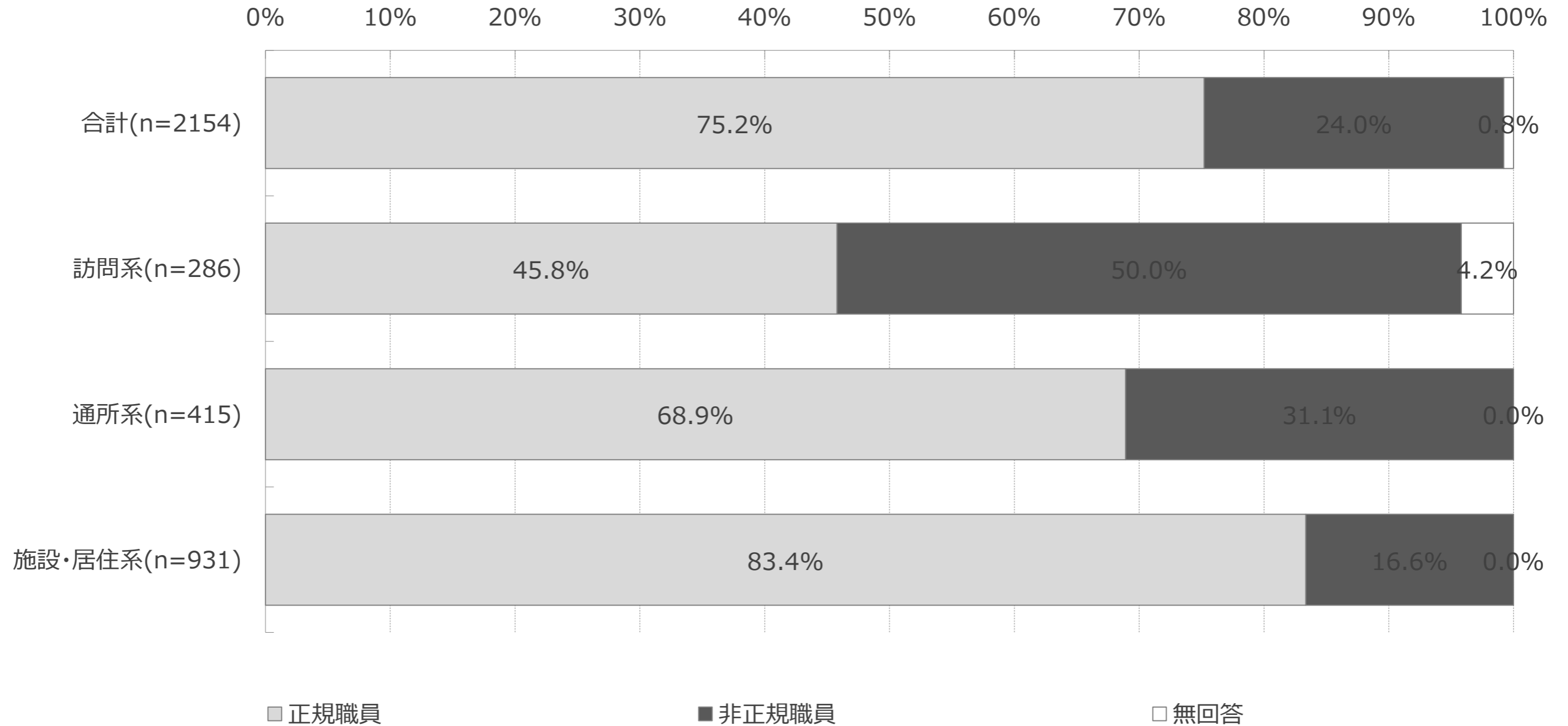
(注) 「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

年齢別の資格保有の状況



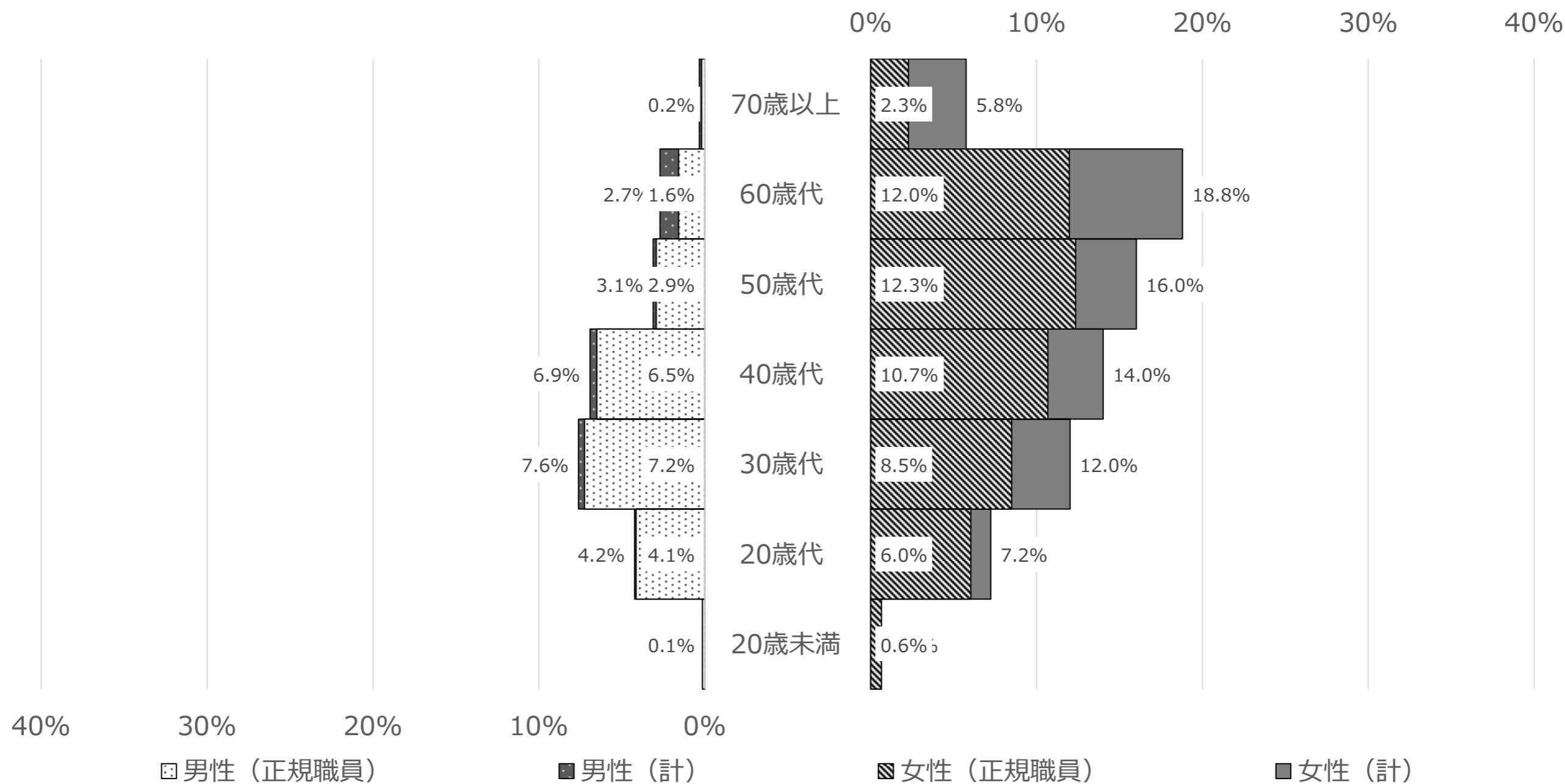
(注) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合



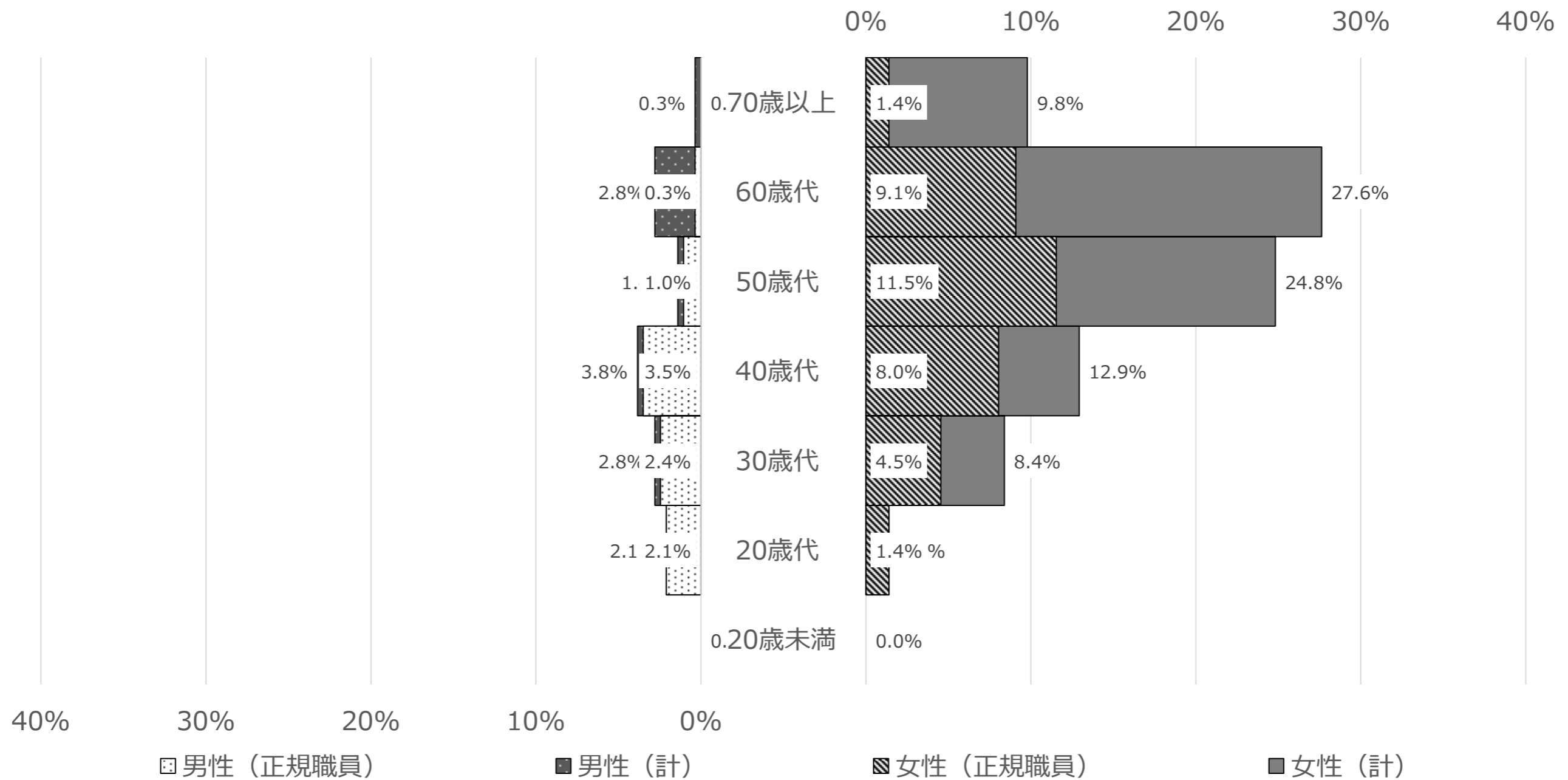
(注) 「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（全サービス系統合計、n=2154）



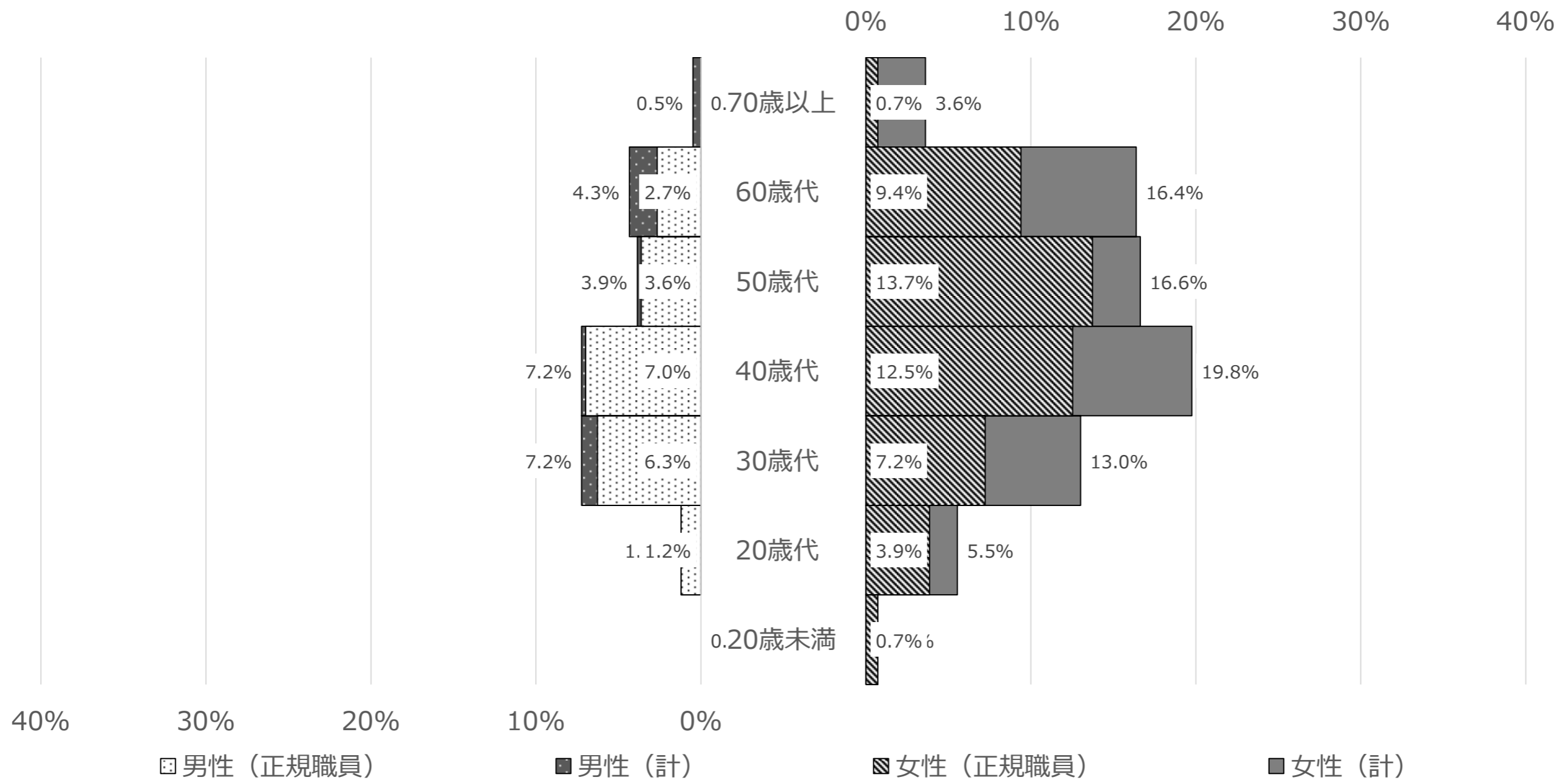
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系、n=286）



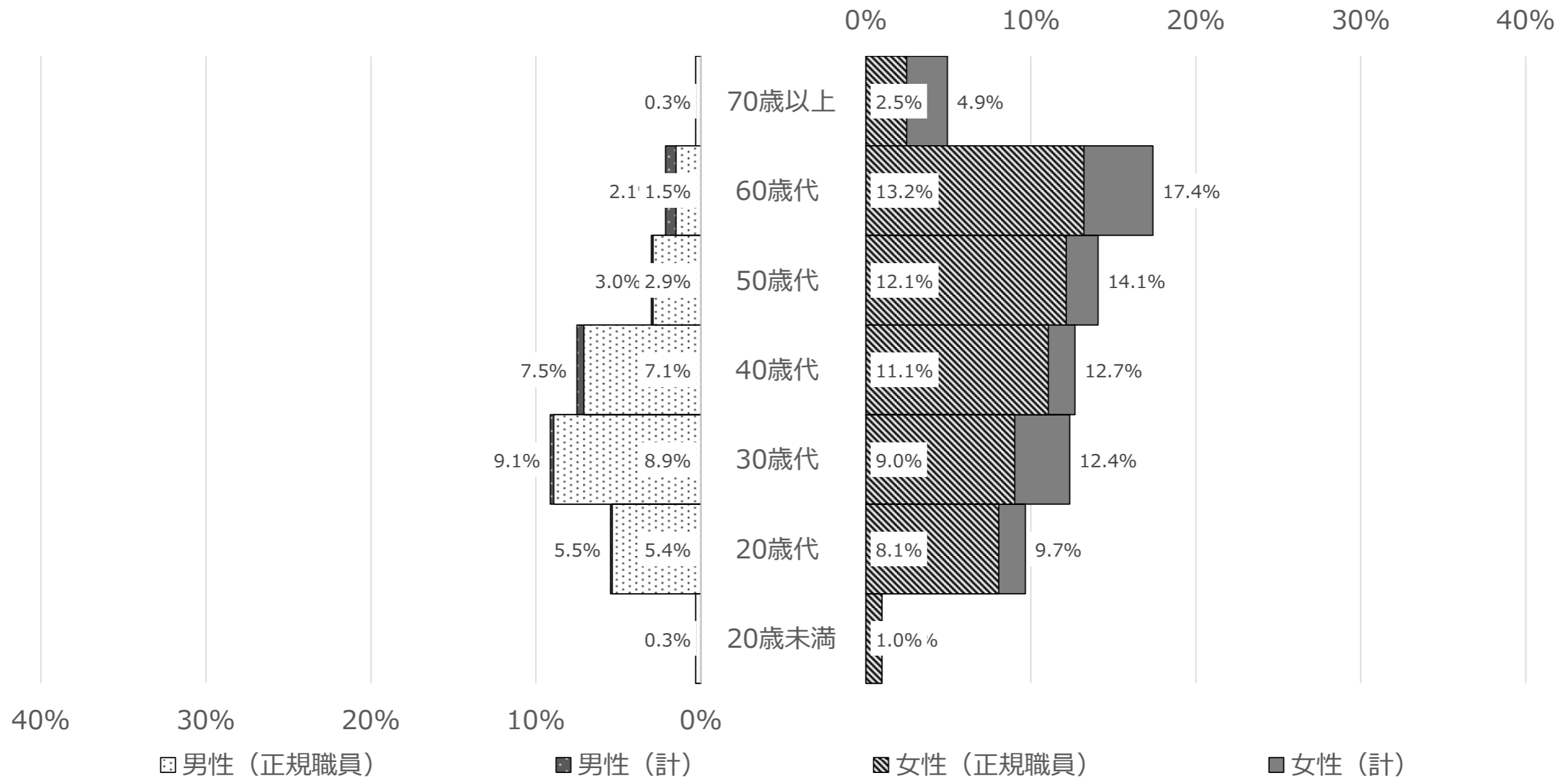
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系、n=415）



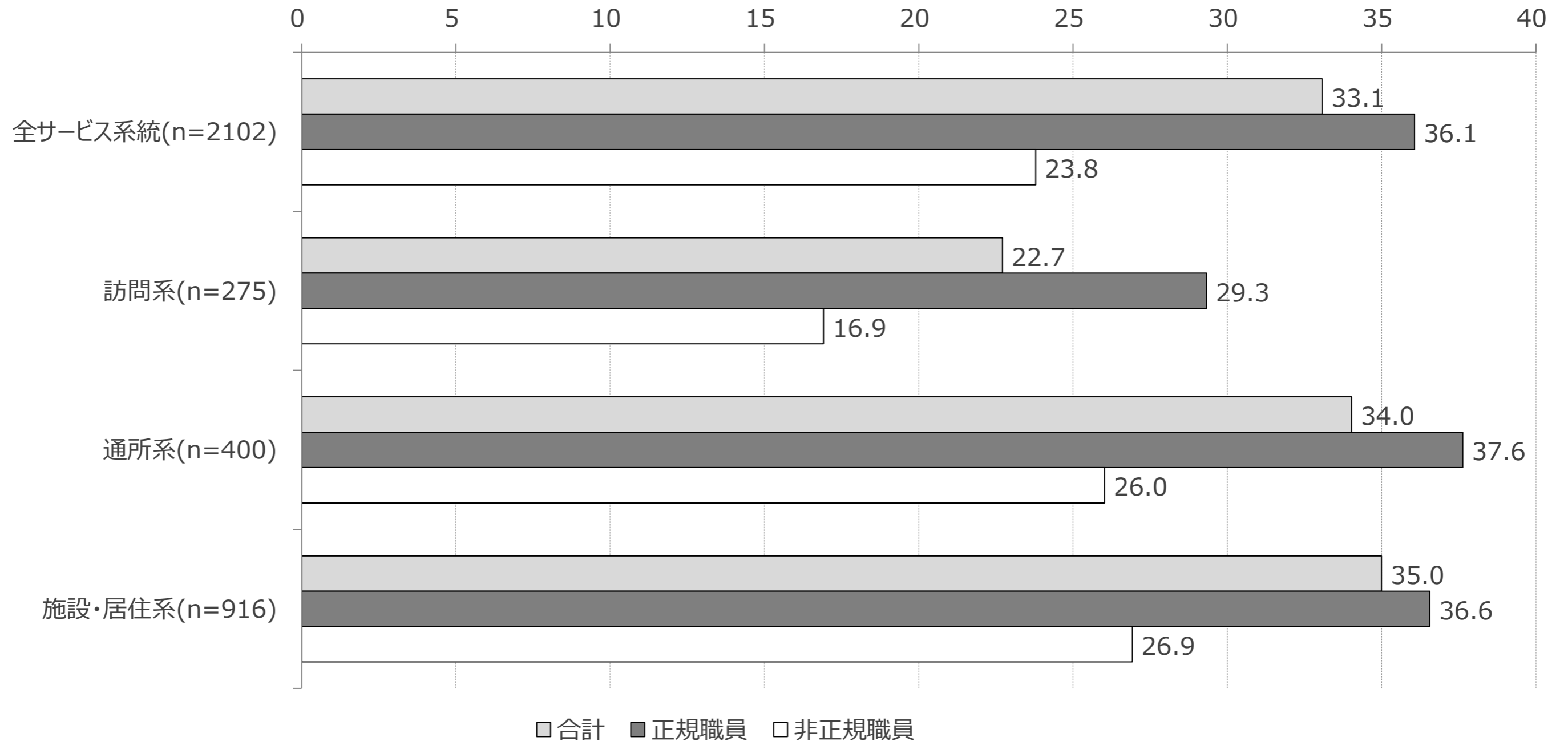
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系、n=931）



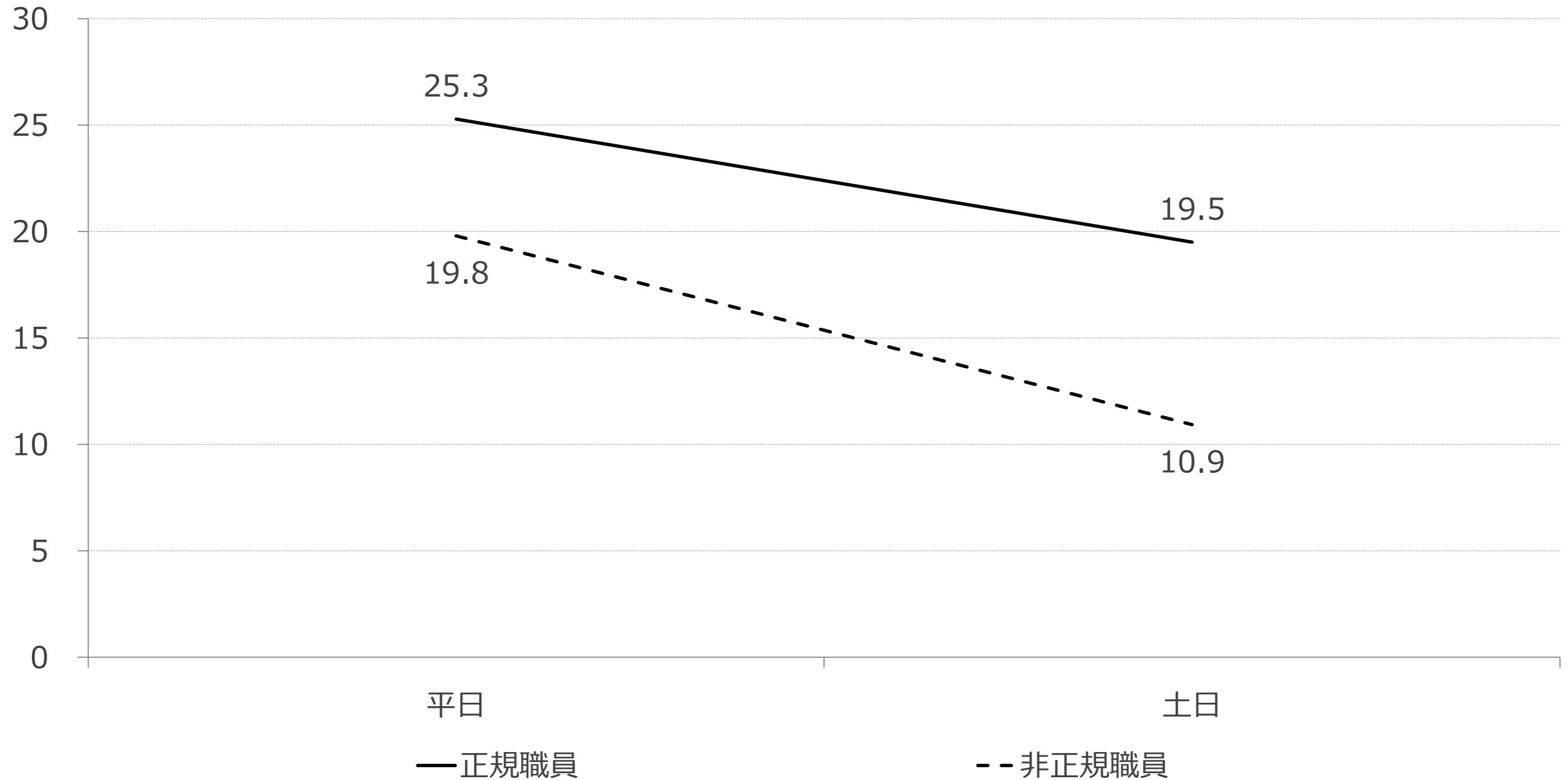
(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

職員1人あたりの1週間の勤務時間（単位：時間）



(注) 「合計」には雇用形態不詳の方を含めています。また、「全サービス系統」にはサービス系統不詳の方を含めています。

平日・土日別の職員1人・1日あたり 訪問介護サービス提供時間（身体介護、単位：分）



介護職員数の変化

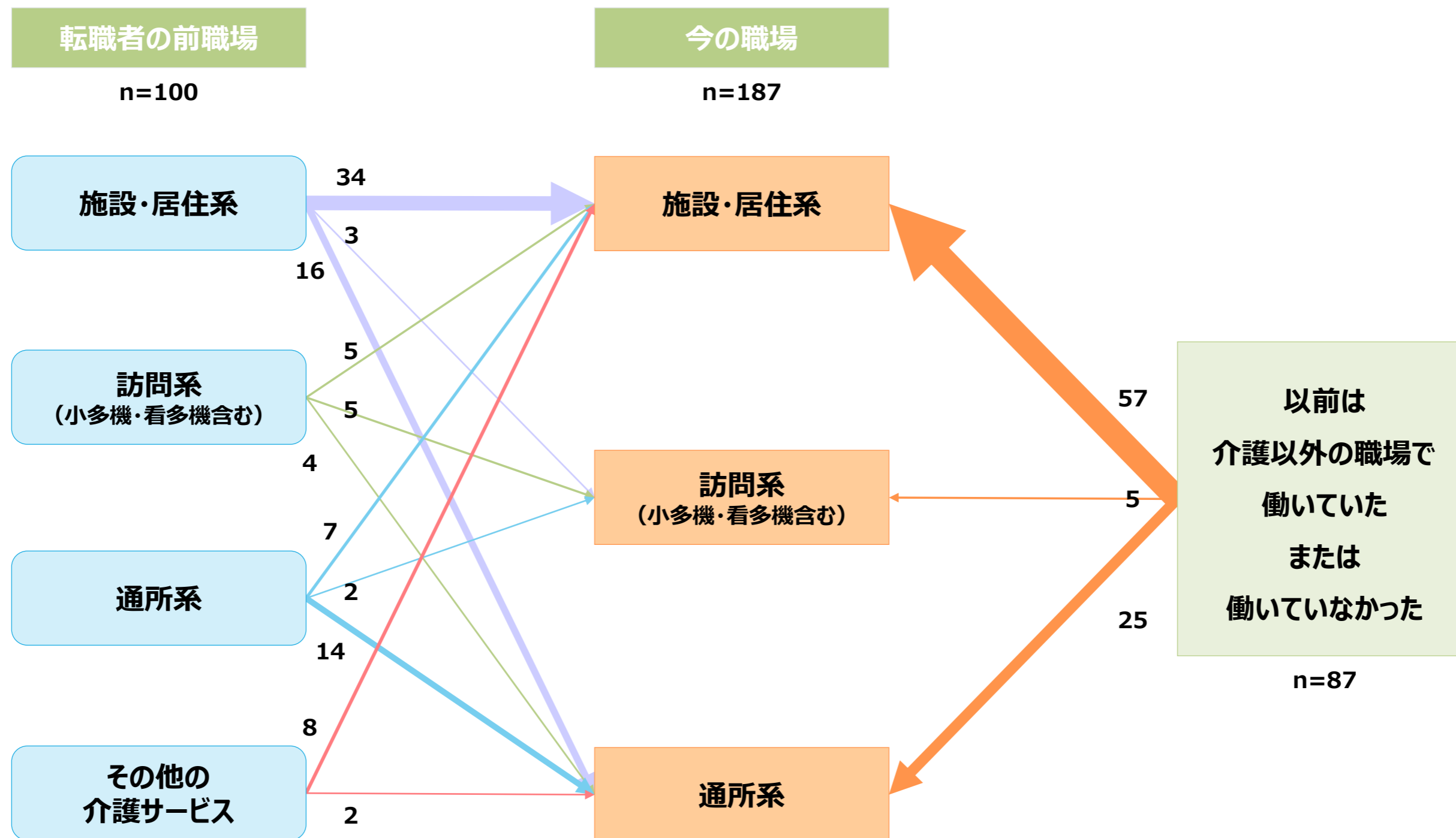
サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統(n=181)	1772人	531人	2303人	288人	109人	319人	185人	95人	288人	106.2%	102.7%	101.4%
訪問系(n=30)	151人	154人	305人	24人	20人	38人	27人	23人	50人	98.1%	98.1%	96.2%
通所系(n=49)	299人	123人	422人	43人	25人	62人	26人	19人	45人	106.0%	105.1%	104.2%
施設・居住系(n=67)	832人	169人	1001人	128人	44人	155人	90人	41人	135人	104.8%	101.8%	102.0%

前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	187人	100.0%	20人	100.0%	40人	100.0%	74人	100.0%
同一市区町村	147人	78.6%	16人	80.0%	30人	75.0%	58人	78.4%
他の市区町村	33人	17.6%	1人	5.0%	9人	22.5%	14人	18.9%

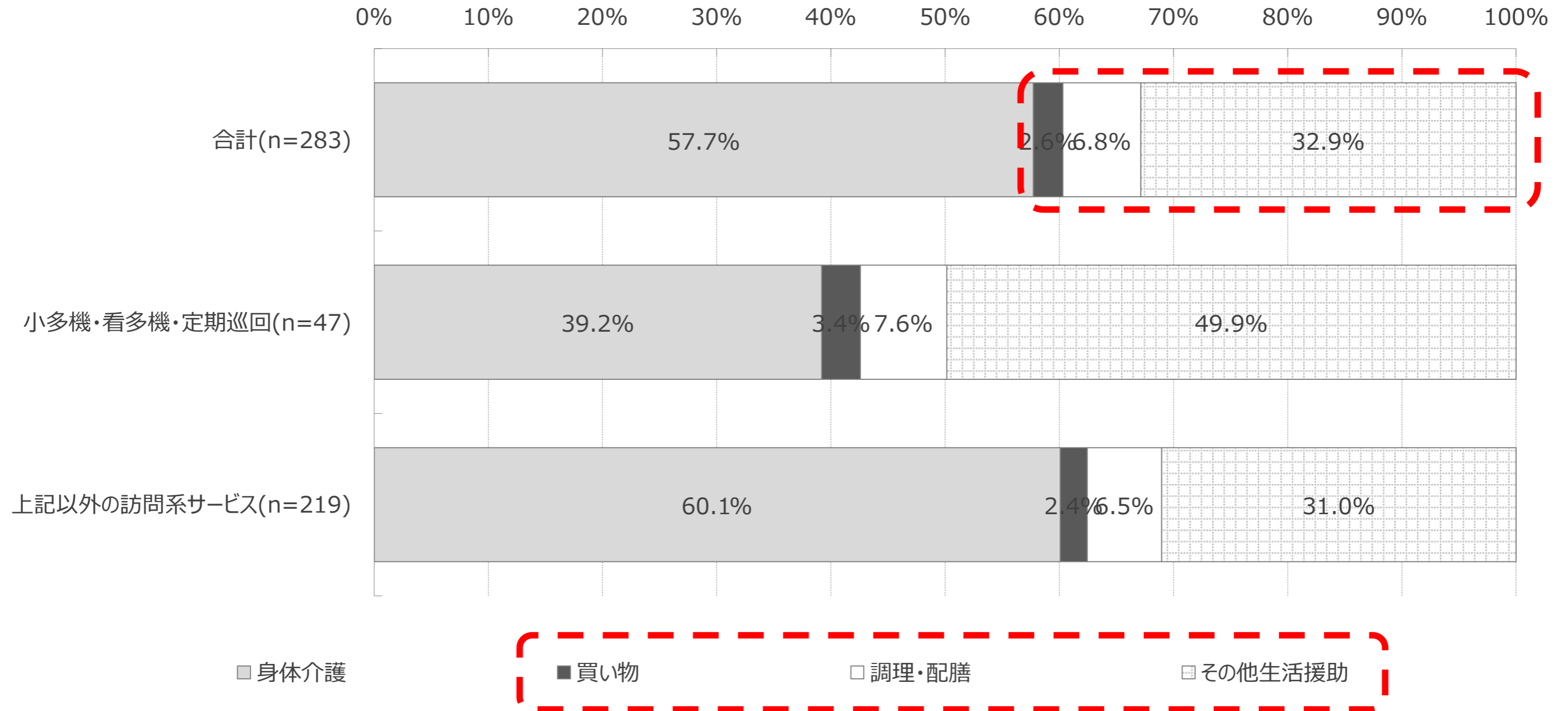
(注) 上表・下表の「全サービス系統」にはサービス系統不詳の事業所を含めています。また、下表の「合計」には前の職場の場所が不詳の方を含めています。

過去1年間の介護職員の職場の変化 (同一法人・グループ内での異動は除く)



(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

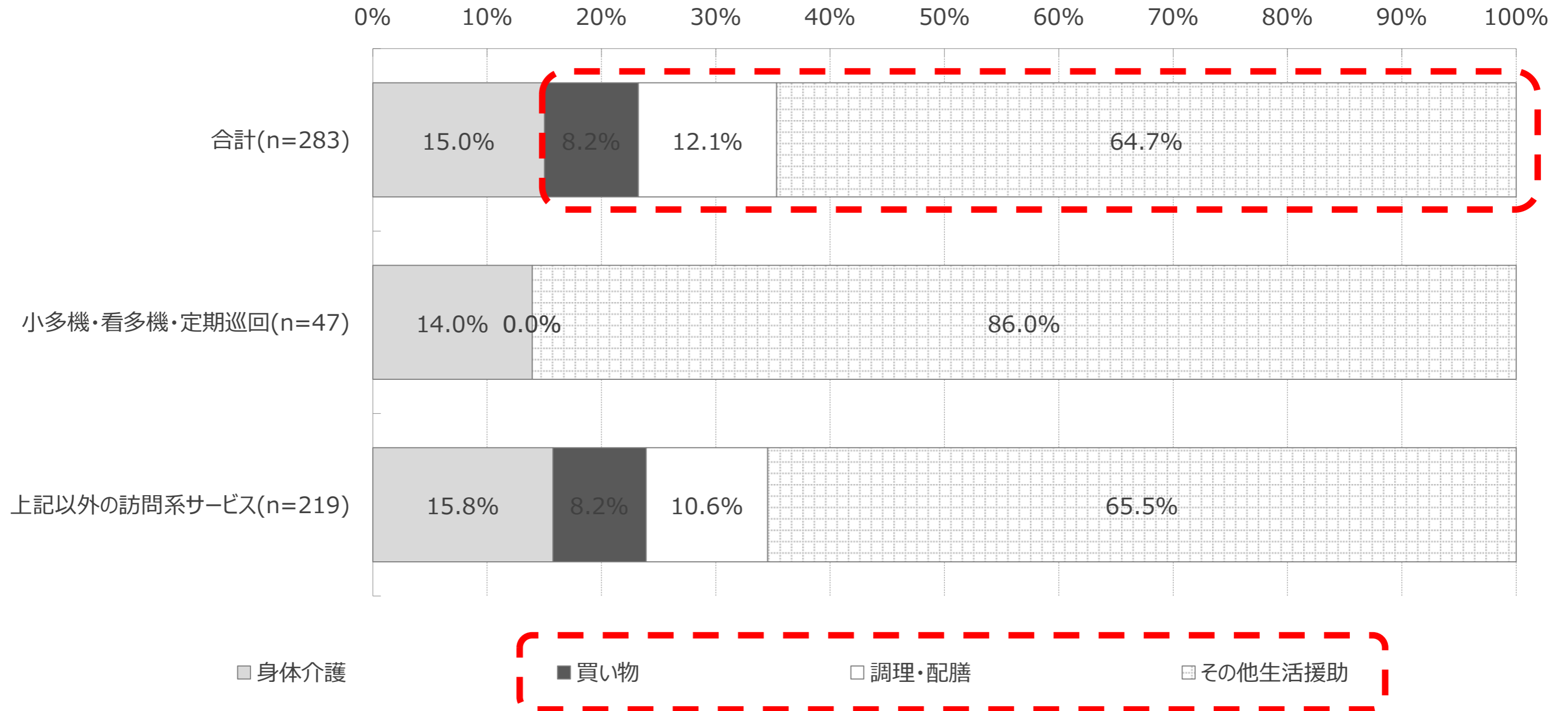
訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

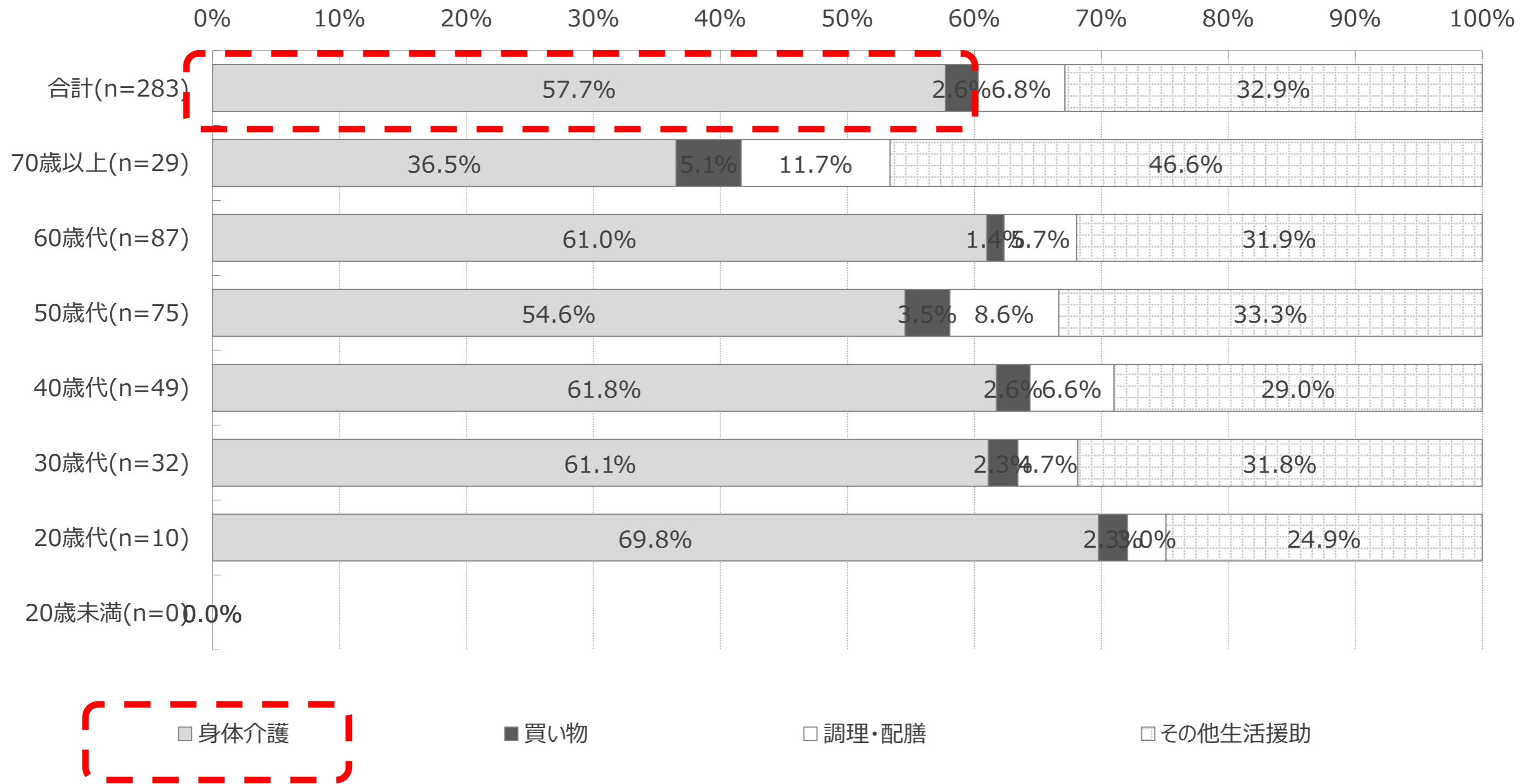
訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

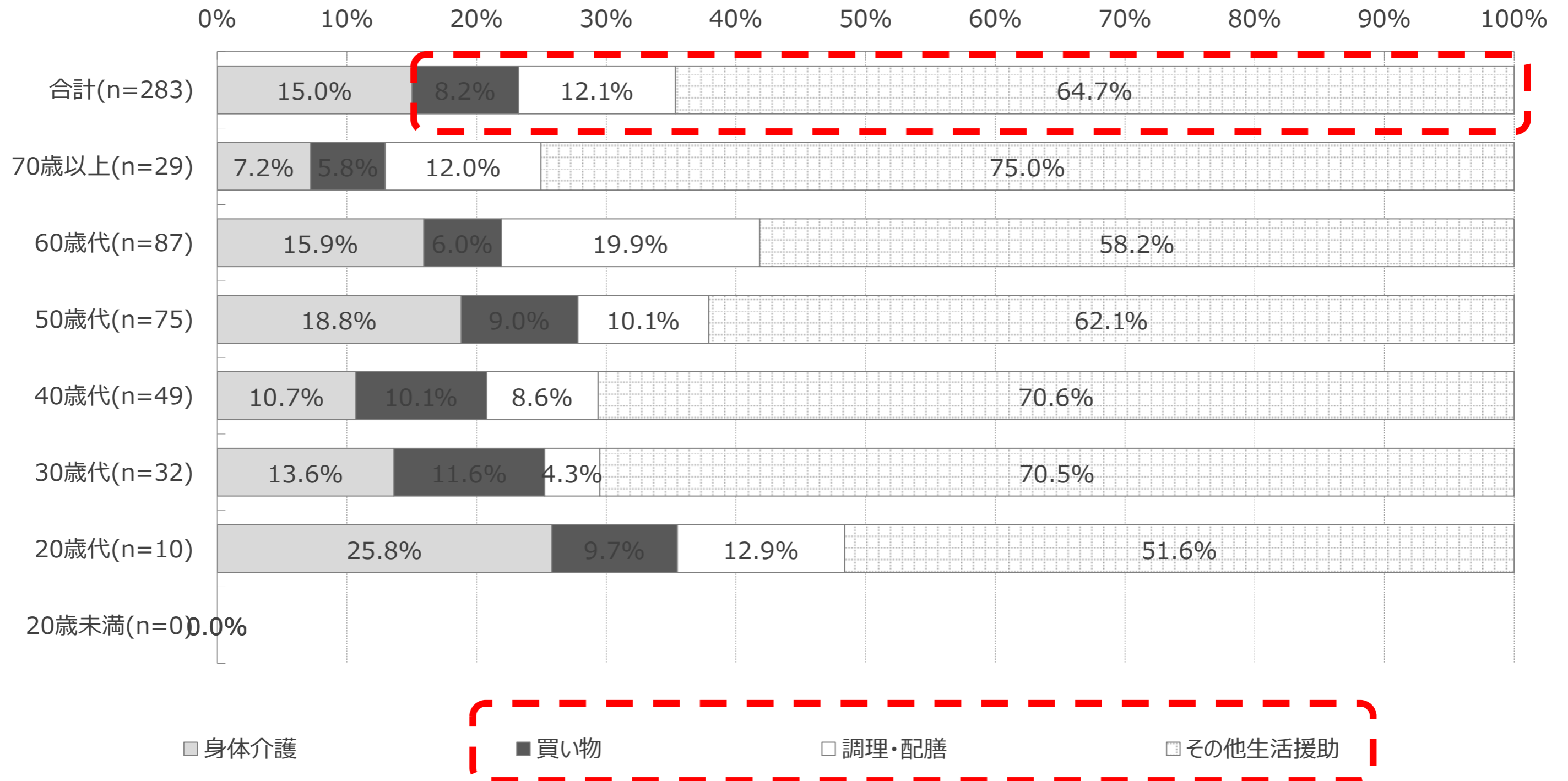
訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

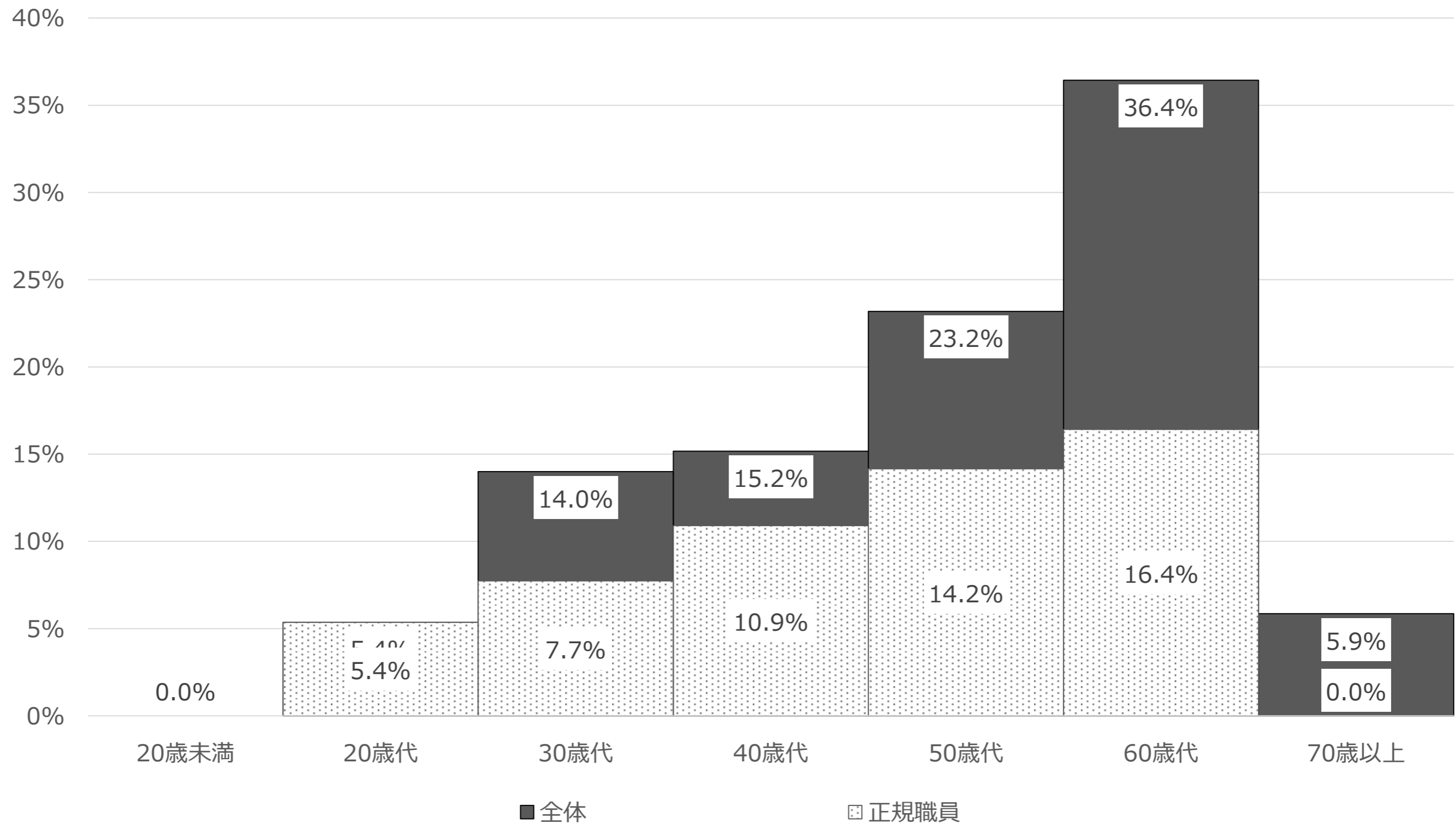
(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



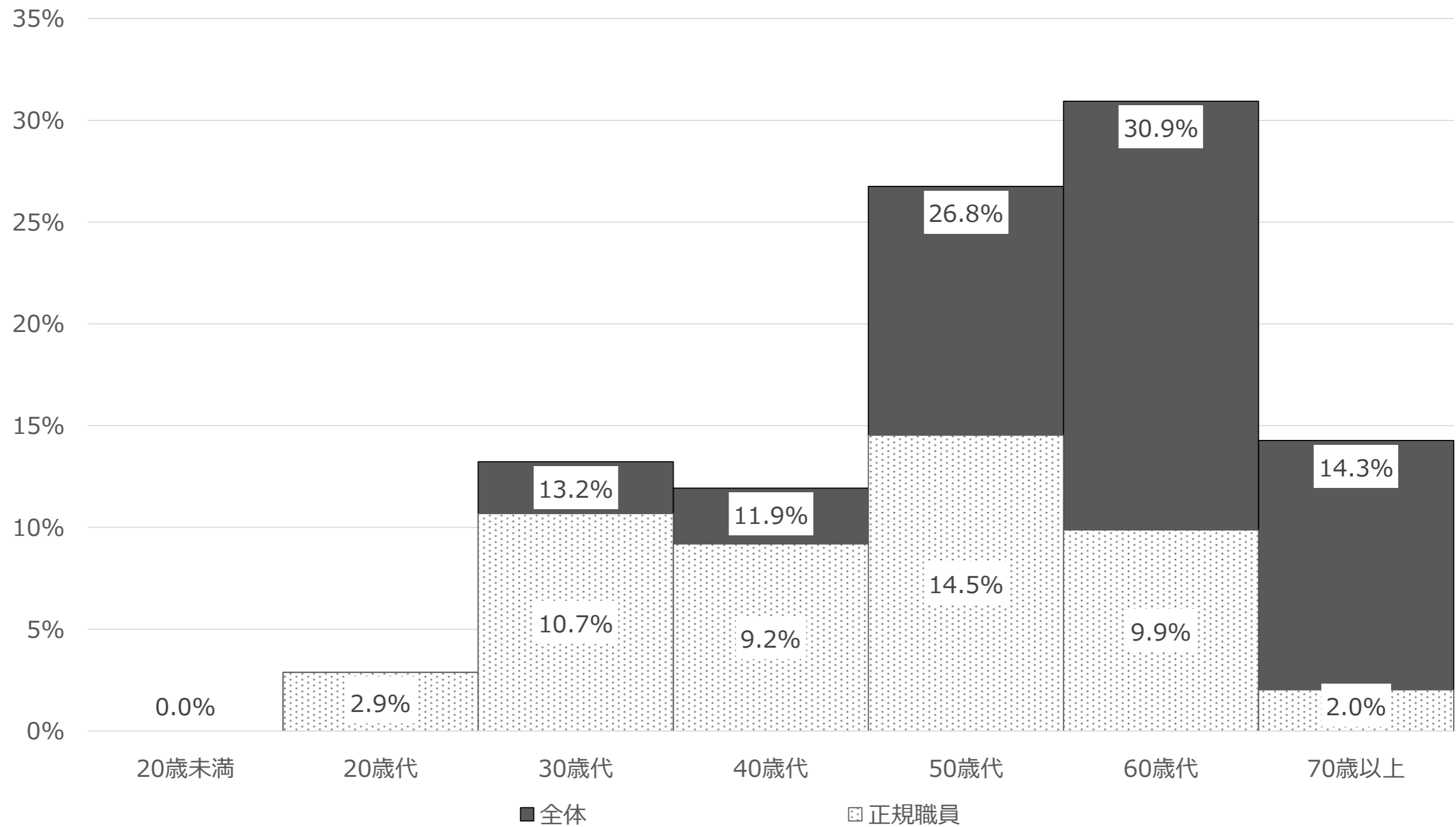
(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。
 (注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）



(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）



(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。